

はじめに

本校では、平成29年度に「一人一人の教育的ニーズに応じた教育課程」というテーマで県の研究指定を受け、併せて「知的障害のある児童生徒の質の高い学びを実現するために必要な学習指導と評価の在り方」をテーマに文部科学省の研究指定校の指定も受けました。これらのテーマのもと、新学習指導要領の理解を深めながら、各教科等を合わせた指導における学習指導と評価の在り方について研究を進めてまいりました。

昨年度までの2年間で、「質の高い学び」を実現する具体的な姿を、本校の目指す子ども像である「すすんで学び、考え、行動する子」と捉え、各教科等を合わせた指導における授業実践をとおして、その育成を目指しました。各教科等の内容を意識した活動や支援方法の工夫改善が、児童生徒の質の高い学びに着実につながることを実証できたのではないかと考えております。

今年度は、これまでの研究成果を踏まえ、各教科等を合わせた指導においてP D C Aサイクルによる授業づくりを試行し、関連する各教科等の内容の精選や評価の観点の系統性に焦点をあて授業実践を進めることとしました。これまでの実践研究の中から見えてきた課題に向き合い、併せて、主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業改善に取り組み、「質の高い学び」の実現を目指しております。

本校において各教科等を合わせた指導は、生活単元学習や作業学習、日常生活の指導として、長年実践が蓄積されてきました。この3年間の研究の成果を生かし、それらの指導において「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」そして「何が身についたか」を明確にし、複雑に状況が変化していく時代を生きる子どもたちの希望に満ちた未来を拓く教育を目指していきたいと思います。

結びになりますが、本研究を進めるにあたり、校内外の委員で構成する教育課程研究協議会を組織しました。委員長の関西学院大学教授 眞城 知己 先生をはじめとする外部委員の皆様から、貴重な御指導、御助言をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。また、新学習指導要領を踏まえた先行的な研究の機会を与えてくださった関係各位に感謝申し上げます。

令和2年1月

校長 佐川 桂子